

中小事業所向け VOC 処理技術 実証試験要領の見直し方向性

- 本分野の手数料徴収体制における実証試験のあり方を踏まえ、実証試験要領の見直しに関係すると考えられる部分を示す。
- 最終的には平成20年度に、実証運営機関によって見直される予定であり、現段階における中間整理として実施。

	現体制（資料2から）	実証試験要領における該当箇所および見直しイメージ													
手数料体制移行の観点から	（国負担体制であるため、特に言及なし）	<p>（特になし）</p> <p>※他分野（手数料徴収体制）の実証試験要領に倣った場合、以下のような事項を記載。</p> <p>Ⅶ. 実証試験実施上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データの品質管理 2. データの管理、分析、表示 3. 環境・衛生・安全 <p>P24以降</p> <p>4. 手数料</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）手数料の設定と徴収</p> <p>5. 実証試験の変更又は中止について</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）環境技術開発者の希望による実証項目の追加について</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）環境技術開発者の希望による中止（辞退）について</p> <p style="padding-left: 20px;">（3）実証機関の判断による実証項目の追加について</p>													
手数料額を軽減する観点から	<ul style="list-style-type: none"> ・ 想定される主な実証項目を全て示すと共にその測定法（公定法等）を示している。 	<p>表 3 主な排ガス処理性能実証項目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #333; color: white;"> <th style="width: 15%;">項目分類</th> <th style="width: 35%;">主な実証項目</th> <th style="width: 50%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">通常項目</td> <td>VOC濃度</td> <td>入口ダクトにおける流入ガス及び出口ダクトにおける処理ガスのVOC濃度（ppmC）</td> </tr> <tr> <td>処理率（移動収支）</td> <td>流入ガスに含まれるVOC総量および処理ガスに含まれるVOC総量から算定される移動収支</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">必要に応じて追加・簡略化を図る項目</td> <td>回収率（移動収支）</td> <td>流入ガスに含まれるVOC総量および回収されたVOC総量から算定される移動収支</td> </tr> <tr> <td>回収溶剤の性状・成分</td> <td>実証対象機器にて回収されたVOC（液体状態にあるもの）の品質（新品溶剤からの変化状況（純度等））。再利用の可否の判断の参考にすることを目的とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）機器特性により、必ずしも上記内容の実証を実施できない場合はこれに限らない。</p>	項目分類	主な実証項目	内容	通常項目	VOC濃度	入口ダクトにおける流入ガス及び出口ダクトにおける処理ガスのVOC濃度（ppmC）	処理率（移動収支）	流入ガスに含まれるVOC総量および処理ガスに含まれるVOC総量から算定される移動収支	必要に応じて追加・簡略化を図る項目	回収率（移動収支）	流入ガスに含まれるVOC総量および回収されたVOC総量から算定される移動収支	回収溶剤の性状・成分	実証対象機器にて回収されたVOC（液体状態にあるもの）の品質（新品溶剤からの変化状況（純度等））。再利用の可否の判断の参考にすることを目的とする。
項目分類	主な実証項目	内容													
通常項目	VOC濃度	入口ダクトにおける流入ガス及び出口ダクトにおける処理ガスのVOC濃度（ppmC）													
	処理率（移動収支）	流入ガスに含まれるVOC総量および処理ガスに含まれるVOC総量から算定される移動収支													
必要に応じて追加・簡略化を図る項目	回収率（移動収支）	流入ガスに含まれるVOC総量および回収されたVOC総量から算定される移動収支													
	回収溶剤の性状・成分	実証対象機器にて回収されたVOC（液体状態にあるもの）の品質（新品溶剤からの変化状況（純度等））。再利用の可否の判断の参考にすることを目的とする。													

現体制（資料2から）		実証試験要領における該当箇所および見直しイメージ																																		
手数料額を軽減する観点から ・ 想定される主な実証項目を全て示すと共にその測定法（公定法等）を示している。 （つづき）	P11 ・ P18	表 4 主な環境負荷実証項目																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目分類</th> <th>主な実証項目</th> <th>内容</th> <th>主な関連費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6"><u>通常項目</u></td> <td>臭気指数</td> <td>出口ダクトにおける臭気指数</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>CO濃度</td> <td>出口ダクトにおけるCO濃度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>NOx濃度</td> <td>出口ダクトにおけるNOx濃度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排水発生状況</td> <td>操業時または操業時以外（後処理等）で発生する排水中の溶剤濃度、pH、塩化物イオン濃度、酸分（アルカリ消費量）、COD、BOD、排水量。</td> <td>処理費用</td> </tr> <tr> <td>アルデヒド濃度</td> <td>出口ダクトにおけるアルデヒド濃度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>残留オゾン濃度</td> <td>出口ダクトにおけるオゾン濃度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>必要に応じて追加・簡略化を図る項目</u></td> <td>2次生成物発生状況</td> <td>操業時または操業時以外に発生するガス中、排水中の2次生成物（上記2物質を除く）の発生状況。</td> <td>処理費用</td> </tr> <tr> <td>廃棄物発生状況</td> <td>操業時または操業時以外（後処理等）で発生する廃棄触媒等の廃棄物発生状況。</td> <td>処理費用</td> </tr> <tr> <td>騒音</td> <td>機器（本体）運転中の騒音（dB）。</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目分類	主な実証項目	内容	主な関連費用	<u>通常項目</u>	臭気指数	出口ダクトにおける臭気指数	—	CO濃度	出口ダクトにおけるCO濃度	—	NOx濃度	出口ダクトにおけるNOx濃度	—	排水発生状況	操業時または操業時以外（後処理等）で発生する排水中の溶剤濃度、pH、塩化物イオン濃度、酸分（アルカリ消費量）、COD、BOD、排水量。	処理費用	アルデヒド濃度	出口ダクトにおけるアルデヒド濃度	—	残留オゾン濃度	出口ダクトにおけるオゾン濃度	—	<u>必要に応じて追加・簡略化を図る項目</u>	2次生成物発生状況	操業時または操業時以外に発生するガス中、排水中の2次生成物（上記2物質を除く）の発生状況。	処理費用	廃棄物発生状況	操業時または操業時以外（後処理等）で発生する廃棄触媒等の廃棄物発生状況。	処理費用	騒音	機器（本体）運転中の騒音（dB）。	—	（注）機器特性により、必ずしも上記内容の実証を実施できない場合はこれに限らない。
		項目分類	主な実証項目	内容	主な関連費用																															
		<u>通常項目</u>	臭気指数	出口ダクトにおける臭気指数	—																															
			CO濃度	出口ダクトにおけるCO濃度	—																															
			NOx濃度	出口ダクトにおけるNOx濃度	—																															
			排水発生状況	操業時または操業時以外（後処理等）で発生する排水中の溶剤濃度、pH、塩化物イオン濃度、酸分（アルカリ消費量）、COD、BOD、排水量。	処理費用																															
			アルデヒド濃度	出口ダクトにおけるアルデヒド濃度	—																															
			残留オゾン濃度	出口ダクトにおけるオゾン濃度	—																															
		<u>必要に応じて追加・簡略化を図る項目</u>	2次生成物発生状況	操業時または操業時以外に発生するガス中、排水中の2次生成物（上記2物質を除く）の発生状況。	処理費用																															
廃棄物発生状況	操業時または操業時以外（後処理等）で発生する廃棄触媒等の廃棄物発生状況。		処理費用																																	
騒音	機器（本体）運転中の騒音（dB）。		—																																	

現体制（資料2から）		実証試験要領における該当箇所				
手数料額を軽減する観点から	<ul style="list-style-type: none"> 想定される主な実証項目を全て示すと共にその測定法（公定法等）を示している。（つづき） 	通常項目	項目分類	主な実証項目	内容	主な関連費用
				消費電力量	1日あたりの消費電力量（kWh/日（1日あたりの平均操業時間も記載））。	操業時電気使用料、操業時以外電気使用料（回収等）
				燃料消費量	（都市ガス、LPG等の燃料を消費する場合）1日あたりの燃料消費量。	操業時燃料使用費、操業時以外燃料使用料（回収等）
				水消費量	（処理反応及び冷却等に水を消費する場合）1日あたりの水消費量	操業時水使用費、操業時以外水使用費（回収等）
			その他反応剤等消費量	（その他活性炭や薬液等を使用する場合）1運転あたりの反応剤消費量、または交換頻度	操業時消耗品費や交換費用、操業時以外消耗品費、交換費用（回収等）	
		P11～P12・P19	実証対象機器の運転・維持管理に必要な人員数と技能	最大人数と作業時間（人日） 管理の専門性や困難さを記録する	—	
			実証対象機器の立ち上げに要する期間/実証対象機器の停止に要する期間	立ち上げに要した時間（単位は適宜） 停止に要する時間（単位は適宜）	—	
			停電・トラブル時の対応	停電等に対する対応、復帰操作の容易さ・課題等 溶剤吸着熱による過熱発火リスク等への対応有無	—	
			処理性能の持続性・薬液回収の必要性	長期使用に伴う処理性能の劣化度合い、腐食等の可能性、 （薬液吸収式などの場合）薬液回収交換頻度	—	
			（触媒使用技術の場合）被毒対応の有無	（触媒分解方式などの場合）触媒の被毒物質、耐被毒性	—	
			機器内における圧力損失防止の工夫	入口ダクトから出口ダクトに至るまでの部分で圧力損失を防ぐための工夫の有無	—	
			運転及び維持管理マニュアルの評価	読みやすさ・理解しやすさ・課題等	—	
			必要に応じて追加・簡略化を図る項目			

	現体制（資料2から）	実証試験要領における該当箇所						
手数料額を軽減する観点から	<ul style="list-style-type: none"> 想定される主な監視項目については、原則全て実証試験要領において記載している。 	<p>表2 主な監視項目</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目分類</th> <th>主な監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常項目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 入口ダクト、出口ダクトにおける流量 </td> </tr> <tr> <td><u>必要に応じて追加・簡略化を図る項目</u></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 実証試験実施場所における空気温度・相対湿度 入口ダクト、出口ダクトにおけるガス温度 使用VOCの成分 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 実証試験実施場所や使用VOCの都合により、必ずしも上記内容の監視を実施できない場合はこれに限らない</p>	項目分類	主な監視項目	通常項目	<ul style="list-style-type: none"> 入口ダクト、出口ダクトにおける流量 	<u>必要に応じて追加・簡略化を図る項目</u>	<ul style="list-style-type: none"> 実証試験実施場所における空気温度・相対湿度 入口ダクト、出口ダクトにおけるガス温度 使用VOCの成分
項目分類	主な監視項目							
通常項目	<ul style="list-style-type: none"> 入口ダクト、出口ダクトにおける流量 							
<u>必要に応じて追加・簡略化を図る項目</u>	<ul style="list-style-type: none"> 実証試験実施場所における空気温度・相対湿度 入口ダクト、出口ダクトにおけるガス温度 使用VOCの成分 							

(以上)